

令和元年 5 月 10 日

氷見市長 林正之 様

要 望 書



泊地区自治会

区長 出崎栄一



No.	事業計画	要望書、申請書、等	進 捗	今後の予定、要望	打ち合わせ
1	防災ラジオの難聴対策の構築 *地域防災課	ラジオの配布後も聞き取り難い状態が続く	電波が微弱なため、小型基地局の設置、等を要望(地域に寄り添った対応策の実施)	※電波が弱い。商業放送はしっかり聞くことが出来る。	1)H31/4/24;別途、防災課と協議。
2	津波避難訓練の実施(避難経路) *地域防災課	1)H29年度ふれあいトーク、写真1:急傾斜擁壁部階段の設置例	1)左記の回答:H30年度津波避難計画で、津波避難困難区域を抽出し、そこで津波退避経路の確保が必要となる場所を確認し、今後の対策について検討予定。(地域に寄り添った対応策の実施)		1)進展なし(回答内容とは別に、要望。避難訓練時にも、住民から不安の声が出ている)
3	国道160号の雨量規制問題(累積雨量:140mm)への対応について(地域防災課)	菟田トンネル〜うみあかり間で通行止めとなり、特に、小杉、泊は孤立状態になり、緊急時の行政支援がストップする。	1)防災、減災への対応の観点から、国交省・富山県、等の機関へ問題点、課題としての働きかけを強めてほしい。(自主防災会長会議の資料との矛盾点) 2)真に「規制の対象となる区間」はどこか?を明らかにし、問題個所の解消に向けて、優先して補修工事をしてほしい。	1)いつまで、「雨量規制」の適用なのか?	1)万が一、避難確・避難指示が発令された場合、160号は雨量規制になる可能性が高い。コミュニティセンターが避難(場)所になる。避難所機能(食料、毛布)の整備。(地域に寄り添った対応策の実施)
4	「平成30年7月西日本豪雨」からの教訓をこの地区でどう生かして行くか(※;氷見市の観測史上最大雨量:207.5mm/24時間、55mm/1時間。今回被害が大	講演会;「防災講演会in氷見〜土砂災害から身を守るためには?〜(H30.11.25)」より キーワード:今や、「災	(1)梅雨前線の活動が活発になり、九州から東北にかけて、線状降水帯が出来、非常に激しい雨が降り、記録的な豪雨となった。 (2)6日夕方から8日にかけて、11府県(京都、岐阜、含む)で、	1)2014年(平成26年)8月20日深夜、早朝の広島土砂災害の状況→集中的に降り出して、1時間30分後頃、積算雨量150mm位に	1)当地区でも、集中豪雨による土砂災害の発生が懸念されている。県土木や建設課にも個別に要望しているが、毎年の梅雨時期、台風シーズンには、少なからず被害が出ている。一番恐ろし

	<p>きかった岡山・広島県：250～300mm/24時間、高知県：602mm/24時間、が記録されている。氷見市においても、気圧配置によっては大きな被害を受けていたかもしれない。);「防災講演会 in 氷見 (H30.11.25)」より (地域防災課)</p>	<p>害は忘れないうちにやって来る」</p>	<p>大雨特別警報が出た。 (3) 48時間雨量は123か所、72時間雨量は119か所で、観測史上1位を記録した。 (6/28～7/8累積雨量;高知県安芸郡：1852.6mm、岐阜県ひるがの：1214.6mm、愛媛県西条市：965.5mm、など)・・・長雨が続き、最後に大雨が降った。</p>	<p>なった時点で、土砂災害が発生した。(避難勧告、避難指示が発令されたのは土砂災害が発生してから、2,3時間後であったとのこと)</p>	<p>いのは、2014年(平成26年)8月20日深夜、早朝の広島土砂災害の事例である。(地域に寄り添った対応策の実施)</p>
5	<p>CGによる「氷見市における津波シミュレーション動画」を作って、公開してほしい (地域防災課)</p>	<p>よく言われるように、富山県や氷見市は比較的災害が少なく、住民の防災意識は低い。</p>	<p>TVでは、東京や大阪などのCG動画が放映されていて、防災意識の向上や教育などで、一定の効果が出ている。</p>		<p>*集中豪雨による土砂災害についても。</p>
6	<p>巨大地震への備えについて (地域防災課)</p>	<p>講演会、マスコミ、などで取り上げられている</p>	<p>南海トラフ巨大地震、首都直下型地震、等への備え</p>		
7	<p>防犯カメラの設置について <small>地域振興</small> (地域協働課)</p>	<p>今、PRされている内容では、適用外。</p>	<p>交通事故の危険箇所、高齢者の徘徊、防犯、など、トータル的な安心、安全の確保が出来る地域づくりに寄与する。</p>		<p>*縮充(人口を減らしつつも充実した地域社会)社会の構築に向けての取り組み。(地域に寄り添った対応策の実施)</p>

写真 1：急傾斜擁壁部における階段の設置例（R元年 4月撮影）

